

総社市教育委員会会議録

- 1 開 会 平成25年7月23日 午後3時 0分
- 2 閉 会 平成25年7月23日 午後4時45分
- 3 場 所 総社市役所西庁舎3階 301会議室
- 4 出席又は欠席した委員

出席委員

委員長	林 直 人
委員長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	下 山 洋 子
委 員 (教育長)	山 中 榮 輔

欠席委員

委 員	森 下 和 郎
-----	---------

- 5 会議に出席した者

教育次長	松 尾 一 夫
参事兼庶務課長	三 村 和 久
学校教育課長	東 長 典
生涯学習課長	佐 近 昇
文化課長	谷 山 雅 彦
庶務課課長補佐	松 久 茂 喜

- 6 会議録署名委員

米 谷 正 造	小鍛治 一 圭
---------	---------

- 7 付議事件

議案第17号 平成25年度総社市一般会計 補正予算 (第3号) について 原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後3時0分

林委員長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案1件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。

会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、米谷委員、小鍛冶委員の2名をお願いします。

では、議案第17号「平成25年度総社市一般会計 補正予算（第3号）について」事務局から説明願います。

三村庶務課長 【事務局説明】

林委員長 ただいま事務局から説明がありました議案第17号について質問はありますか。

（質問なし）

林委員長 お諮りいたします。

議案第17号について可決してよろしいか。

（異議なし）

林委員長 ご異議がないようですので、議案第17号については可決しました。

次に、教育長の報告をお願いします。

山中教育長 6月の初めから学校訪問を行っておりまして、夏休みまでには終わらせようと思っていたんですが、幼稚園と小学校がまだ若干残っておりまして、9月には全部終了する予定であります。

それから、5月19日に市長と一緒に、県の竹井教育長のところに今度できます特別支援学校に関する要望事項を持って参りました。スクールバスのルートとか、その他いろいろ数項目についてお願いを文書で申し入れました。教育長はこれをベースにできるだけ意向に沿ってやるというふうに約束をいただいたところです。

それから、先週の7月19日に県の教育事務所と市町村教育長との連絡会議がありまして、県の方針説明と意見交換がありました。その中で、県が特に力を入れているのはやはり学力ということで、学力向上に関するいろんな課題と実行テーマについて幾つか話がありました。その中の一つは、地域連携をやってほしいということと、それから県としては重点校、少し安定してない学校、そういうところに重点的に人とか資源を配置していった安定させていきたいという話がありました。

そのほか、教員のレベルアップに関する話があって、教員の研修を座学だけではなく、実態に則した研修をやりたい。それで、研修のあり方も少し考えていきたいという話がありました。

それからいじめ対応で、警察との連携を密にできるように、だれでも注意できるような体制を作っていきたいという話がありました。

もう一点は、人事方針についてですが、これから構成比率の高い50代の先生方は退職に

なっていくわけですがけれども、急速に若返りが進むので若年層のレベルアップが非常に重要な課題である。また、中堅クラスの育成にも力を入れたいといけない。あわせて、問題校については、弾力的に加配を考えていきたいという話がありました。

もう一つは人事関係で、県の方針として校長の再任用について、今までは校長先生が退職された後、再任用された場合は教諭しか採用はなかったんですけれども、今年度はテストをやって、公募の形をとり、最大5年間、61歳から65歳まで、一応3年間正規の職員として採用する。ですから、給与体系も若干違うんですけれども、ほとんど支払額は変わらないようにする。これは今までにないことです。再任校長の場合は、3年が目途ですから65歳までということ、62歳まではエントリーできる。それから、これは民間校長と同じルールで、年齢は違いますけど、民間校長の公募は38歳から、再任校長は61歳からということになります。それで、8月ぐらいに公募をする。

このあと意見交換の中で、学力向上が中心だったんですけれども、備前市が豊後高田市と同じようなシステムを導入すると言っています。ことしからボランティアも入れて、課外学習ということで補充授業をやるということです。それから、各市ともやはりボランティアを使った補充授業といいますか、課外授業は力を入れていまして、レベルの差はありますが、ほとんどの市がやり始めたという状況です。来年度は何を重点でやるかという調査リストがありまして、項目は学力向上と道徳教育、生徒指導、あとキャリア教育でした。総社市の場合は、学力向上と生徒指導についてはアイテムが多いんですけれども、道徳教育とキャリア教育については、キャリア教育の項目がほとんどない。道徳教育は若干やっているんですけれども、市の教育委員会として統一的なことはやっていない。ですから、市としては道徳教育のあり方と、それからキャリア教育をどうするかが課題です。キャリア教育は、進んでいる市とは差があるという状況です。

もう一点は、全国学力学習調査の結果の市平均の公表をどうするか。県としては公表してほしいということですが、これも8割方の市がやるという方向で動いているようです。ただ、学校ごとの公表はしない。来月国が発表になりますので、その内容を見て、お諮りしたいと思っております。

林委員長 ただいまの教育長報告に対するご質問等はありませんか。

米谷委員 先ほどの問題校への加配について、来年度から新たに確実にもらえるということですか。

山中教育長 今年度も常盤小学校は理科の専科の先生を一人いただいているのと、あともう一人は生活指導ができる先生で、専科の先生が増えたということは大きい。というのは、学級単位で担任が全部見るというのではなしに複数の先生が学級をみるということになりますから、中学校ほどではないですが、そういう複数の目を見て、組織的に問題のある子どもたちに対応するということだと思います。

それから、現実には非常に困っているというか、対応に人が足りないということで、2カ

月間、非常勤ですが県の正規職員を緊急配置してもらえるので、9月に入ったら再申請しないといけないなと思っています。去年と比べますと、何かあったときにすぐ副校長とか教頭が飛んで行くという頻度は少し下がったようです。そういう意味では、若干の効果はあったということです。このことは県教委もしっかり認識されていて、最近、県の教育事務所長と教職員課長二人とも常盤小は見てくださいました。

下山委員 備前市の補充学習については、総社市でもレベルが違って、いろいろ課外授業でサマースクールとか夏休みもやっているという話を聞いたんですけど、市内ではどのくらいの学校が休業日または夏休みに補充授業を計画されているんですか。

風早学校教育課主幹 私が把握しているのは、総社小学校、常盤小学校、総社北小学校、総社西小学校、維新小学校、それから山手小学校、小学校はこれだけです。中学校は、全校でやっております。

山中教育長 今、申し上げたのは、公民館ではなしに、全部学校に来て、授業と同じ形態でやるということです。

下山委員 先ほどのキャリア教育については、小学生の夢がなくなったなということを感じていますので、道徳と絡めて、子どもたちに大きくなって何になりたいかと聞いたときに、夢のない子がどんどん増えてきているので、そこら辺のこともあるといいなとこれを聞いていて思いましたので、よろしくをお願いします。

林委員長 よろしいでしょうか。

では、次に、協議事項等に移ります。

まず、「学校施設耐震化事業総合評価審査委員会の設置について」事務局から説明願います。

三村庶務課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

米谷委員 組織の委員定数が5名で、教育関係者、耐震の専門家、実務者、学識経験者ということですが、どういうふうな方法で選定するのでしょうか。

三村庶務課長 技術的なことを評価していただく方を3人予定しております、一人は県立大学のデザイン学科の准教授ですけど、そういった方をお一人。こちらは県の耐震化の評価委員もされているというふうに聞いております。それから二人目は、県の建築士会、専門的に実務をされている方からお一人。それから3人目は、県の教育庁の職員を一人考えております。

それから教育関係は、学校関係に詳しい方を一人と、それからもう一人は現職の校長先生ということで、5名を予定しております。

林委員長 次に、「教職員の育成・評価システムに係る評価者会議の設置について」事務局から説明願います。

東学校教育課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見はありませんか。

米谷委員 要は、県にその評価の結果を伝えるための基準というか、この要領に従って行うということと理解してよろしいんですか。

東学校教育課長 市立学校の先生方の評価を教育長等が担っていくので、その評価が適切に行われているかどうかというところを確認するための会議というか、それが結局処遇に反映されていくということになりましたので、そこをきちんと評価するための会議だと思っております。処遇への反映というのは、県が雇用している教職員に対することです。県教委とそのあたりをやりとりしながら、物事を進めるということになると思います。

下山委員 こういうときが来たんだなと思いましたが、事実確認ということで見えている部分と見えてない部分もあると思うんですけど、校長先生の高い評価が出たり、低い評価が出た場合、どういう形で事実確認をするのかということをお尋ねしたいのと、それから4条4項で必要に応じて評価会議に関係職員を出席させるという、関係職員というのほどこら辺のことを思っていたらいいのでしょうか。

東学校教育課長 事実確認については、その会議の前までに調査をしないといけないということです。ですから、庶務を学校教育課が行うものということになっているので、会議にかけるための資料として、実際そういう評価の点数になっている経緯はどうかということ、校長先生から聞き取りをすとか、そういうことになるのではないかと思います。

それから、4条4項の関係職員を出席させるという部分は、事務局の職員とか、場合によっては本人も可能性があるのではないかと思います。

林委員長 次に、「学校訪問（小中一貫教育）の日程について」事務局から説明願います。

東学校教育課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見はありませんか。

下山委員 中学校の英語の先生が小学校で授業をするんですか。それとも、小学校の先生が英語で授業をするんですか。

東学校教育課長 授業者は、昭和小学校の先生だと思います。

林委員長 英語教育は、別に小中一貫とは関係ないような気がしますけど、いかがですか。

東学校教育課長 維新小学校の先生にもそういうふうな場に積極的に入ってもらって協議をして小学校の外国語活動を考えるということが一つあるのと、それから、この日に直接ではないんですけど、昭和中学校の英語の先生に子どもを直接指導していただく日があったり、この日は研究協議の授業参観と研究協議のところで発言や助言いただいたりということがあられるかもしれないんですけど、そういうことで、中と小の連携とか小学校同士の連携とかということが一つです。それから、この間のガラス張り公開市長室で市長も昭和地域の再生ということを強く言われたんですけど、特色を打ち出すのに、小学校における外国語活動の充実、もうちょっと言うと英語教育の充実というか拡充というか、そういうふうなことも視野には入っていたと思うんです。

林委員長 次に、「岡山県学力・学習状況調査の結果について」事務局から報告願います。

風早学校教育課主幹 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の報告に対するご意見等はありませんか。

米谷委員 これは学力テストの結果と生徒の学習状況調査の二つですよ。その関連性というか、リンクしている部分がある。例えば、学力的に高い場合にはこういうような子どもたちの意識であるとか生活状況である。先ほどテレビ時間とかいろいろありましたけど、何かそういう関連性ということがわかれば、そういうデータが帰ってきているかどうかわからないんですけど。学校によって一概には言えないんですけど、学力が上がっている学校、あるいは維持の学校、下がっている学校とかいろいろあると思うんですけど、その結果がどういう原因で起こったのかという糸口がわかれば、これから対応の仕方があるのかなというふうに思いました。

風早学校教育課主幹 端的な回答にはならないと思うんですけど、例えば阿曾小が一般的な部分なんですけど、できなかったところを何度も繰り返し繰り返し徹底して問題にあたっていたとか、工夫をして歴史の年号を覚えるであるとか、歌を作って覚えていくとか、そういうものをしたとか、そういう授業の中に工夫があったと。

米谷委員 授業の中で、そういうことを先生方がされているということですか。

風早学校教育課主幹 生活リズムであるとか、先ほどの家庭学習の時間であるとか、そこと学力の差は私が十分読みきれていないんです。

米谷委員 データだけではわからないですね。もし、そういう目立ったところがあれば、何か糸口になるのかなあというふうに思います。家庭の影響は大きいですからね。やはりスポーツの場合もそうですけど、どれだけ時間をかけるかでトレーニング効果というのは現れてくるので、どれだけ時間を学習に割いているかということはやはり大きいですよ。

山中教育長 簡単に言うと、どこにそういう人的資源を入れるか、県にそういうことを市教委がアピールしないといけないということが一つと、校長先生のマネジメント力を高めていく、この二つだと思いますね。そのためには、市教委がこういう情報を提供していかないといけないので、数値で解析したものをきちっと共有して議論をするというところから始めていかないといけないと思っています。市教委だけではパワーが足りなくて、やりきれない部分もありますが、今、県がそういうことを解析するメンバーを入れておりますので、その人たちと協力して、総社市をモデルにしてやってもらいたいということで進めております。今週末にそのミーティングをやるんですけども、もう少しデータ化して、学校ごとに解析結果が見えるようにしないと、どこに手を打っていいのかわからずしてしまいうわけです。

下山委員 今の仕事をしていて思うんですけど、やはり家庭での親の考え方、生活習慣というものがすごく学力に大きいなあと考えていて、その親に話をしたいなとか、親に啓発をしたいなと思っても、学級懇談や講演会にはそういう親が来なかったりということで、なかなかそこら辺の啓発ができない、そういうことを全体として校長先生方が学校で親に強制的で

も話を聞いてもらうとか、市で中学校の生徒を持つ親に話をするとか、何かそういう親への指導みたいなものが学校の先生たちで手が回らない辺があるので、どこかでそういうことをしていただいたら、子どもたちの学力も、学校であれだけしていただいているから、家庭でもバックアップしてもらったら、まだ上がるのではないかなあというふうに思いました。

山中教育長 今問題のある子どもたちは、家庭的な問題があることが多い。ですから、スクールソーシャルワーカーという職はすごく効果的だと実感しています。県にも雇用をどんどん増やしてほしい。一般論でやってもこれは解決する問題ではなく、個別にピンポイントでやっていくべきだと思います。徐々にですけど、そういうことが始まっております。

下山委員 私もピンポイントでスクールソーシャルワーカーを配置していただいて、すごく嬉しいなあと思っております。家庭にも入ってくださっているし、こども課、保健師さん、学校教育課との連携というのもすごくできていて、その辺はいいなあと思っております。ただ、その中間どこの保護者にはまだ指導が要るのかなあというふうに感じます。

林委員長 この結果を受けて、学校がどういうふうにそれを分析して手立てを講じるのかということについては、これはいつ頃どういうふうになるんですか。

風早学校教育課主幹 夏休みの段階で、各中学校ブロックでそういう対策を考えて、2学期からできるだけ早い段階で動こうとしております。それから、あわせて少しでもということで、夏休み前に県のほうも過去問、よく似た問題がずっと出ていたり、今年の問題はどちらかという、去年までの岡山県の問題の傾向とは違いまして、どちらかと言ったら全国とよく似たようなタイプの問題。ずっと答えが入らない。長いものを聞いたり見比べないと入らない。そういう傾向だったんですけど、全国で出たような問題が県に出ていたりとか、過去の県の問題が出ていたりとかで、そういう同じような問題をプリントで作ったものを県からいただきましたので、学校のほうへ見えるようにセンターサーバーに入れております。そういうものを配っておる小学校もあるということです。そういう形でドリル的に行っていく、そういうことを考えております。また2学期以降も、先生方の研修が夏休み中にもあるんですが、十数人の先生が県のセンター等へ行かれるようにしておりますが、そういうところの研修を生かしていくとかを考えております。あわせて、最初の方にもありましたけど、放課後の学習であるとか、清音小が毎週金曜日にしておりますけど、そういうドリル学習を重点化する必要があるかなということをおもっております。

林委員長 外国籍の子どももこの学力調査に参加しているんですか。

風早学校教育課主幹 はい、参加していると思います。

林委員長 もしそうだとしたら、多分読めないし、理解できないと思うので、総合的に平均点は下がっていくだろうなあと感じがするんですけど、そういったところは正しいデータとして考えたときには分けて考えないといけないのかなあ。特に、外国籍の多い学校なんかはどういうふうな手立てをやっているのかなあと思いますね。だから、細かい分析というか、学校の考察を待って考えていくべきなのかなあということを感じて持ちました。

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

佐近生涯学習課長 総社市独自のご当地体操について説明した。

三上文化課主幹 第1回総社芸術祭の実施について報告した。

林委員長 教育委員会の行政視察について説明した。

【委員間で視察内容等協議】

林委員長 いろいろご意見をいただきましたので、そういったご意見を踏まえた上で、私と教育長と事務局で協議して視察先等を決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

林委員長 では、そのようにさせていただきます。

また、視察先等が決定次第、皆さんにご報告しますので、よろしくをお願いします。

では、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり8月20日(火)午後1時30分から開催いたしますので、ご参集願います。

この際、9月の教育委員会の日程を調整いたしたいと思いますが、事務局から提案願います。

(9月の教育委員会について日程調整)

林委員長 では、9月の教育委員会は、9月26日午前10時から開催いたします。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

閉会 午後4時45分